

ちょっとがんばっている私のお話

バルブエナ・クレア

(浜松日本語学院日本語教師養成講座)

私が浜松日本語学院の日本語教師養成講座に入った時の感情はいろいろです。わくわくする気持ち、不安、怖い、日本語の先生になれる自信もやれる自信もありませんでした。でも新しいことと学ぶことにすごく興味がありました。通訳者になりたかったことも関係あります。日本語の先生になるための 440 時間の勉強、週 1 回土曜日、大丈夫だ、時間あります、と軽く判断しました。何とかなると思いました。

ここで、私の忙しい毎日を説明します。私はフルタイムで働いています。小学生の息子が 2 人います。仕事が終わったら児童会へ子どものお迎えに行って、そのままスーパーで買物して、家に帰ったら、晩ごはんの料理をしてお風呂のそうじします。ご飯を食べ終わったら、お風呂に入ります。お風呂から出て、こどもの宿題と次の日の準備を手伝います。そして週 2 回、塾があります。

明日の準備が終わったら、ちょっとだけ子供に好きな事をさせて (テレビ、YouTube、ゲーム)、9:30pm になったら、子どもは歯磨きをして寝る時間です。これで終了、と思ったら違います。これから、旦那と私のお弁当を作って、片付けしてから、私のスキンケアをして、寝ます。洗濯物がある時はもっと時間がかかります。たまには、なにもせずに、冷蔵庫を開けて、ビール 1 本飲みながら

Netflix をみてリラックスしたい気分になるけど、とにかく忙しい毎日を過ごしています。日本語教師養成講座に入ったことを後悔しているんじゃないかなと思ったことは、1回もないです。友達に、学校に行っているよ、って言うのはすごく好きです。自慢しています。時々言い訳に使うこともありました。

自分に言います。「あなたのゴールに向かって、これは旅だと思って、楽しんで下さい。」日本語教師は私のゴールです。私の旅は自分が学ぶことや、人々に会うこと、学生の話を書くこと、この経験を楽しみにしています。

人と話をすると何かを学びます。有意義な会話をすると、自信を得て、友情が広がります。さまざまなコミュニティや文化を知ることで、自分のレベルアップにつながり、知識の範囲を広げます。私の生活や私の性格をよくすることで、人生の成功となり、将来の私の学生と私の経験を共有できると思います。

(908 字)

(2022.6 たどくのひろば掲載)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.